

第22回 全国街路事業 コンクール応募資料

平成22年2月

応募者名： 広島県 都市局 都市整備課

事業の名称：街路改良事業

都市計画道路 巴橋栗屋線

実施都市名：広島県 三次市

事業目的

都市計画道路巴橋粟屋線は、三次市三次町から同市粟屋町に至る延長約1.0kmの路線で、既成市街地の三次町と新市街地の粟屋町との一体的なまちづくりを行うとともに、県北部から三次市中心部への交通を分断するために計画された街路である。

現在の道路は狭隘で、JR高架線との立体交差部は桁下空間が不足し、大型自動車交通に支障が生じているほか、歩道も未整備である。本路線の整備により、交通の円滑化を図り、自転車・歩行者の通行の安全を確保する。

事業概要

事業名：街路改良事業 都市計画道路 巴橋粟屋線

路線名：都市計画道路 巴橋粟屋線

事業箇所：三次市三次町～三次市粟屋町

事業延長：327m

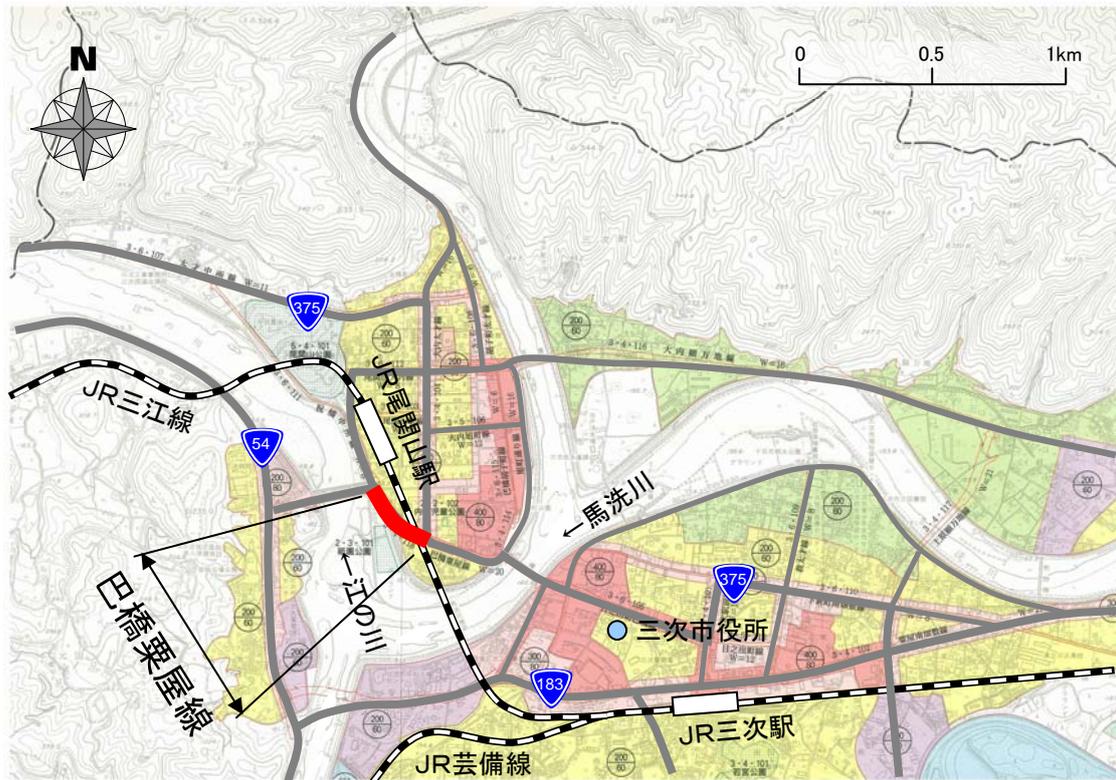
幅員：17.0m(2車線)

総事業費：約26億円

事業期間：平成12年度～平成20年度

本事業は、約0.3kmの道路拡幅及び約89mの電線共同溝の整備し、また、JR三江線との立体交差部の桁下空間不足の解消のため、約87mの橋梁工事を行うものである。

事業位置図

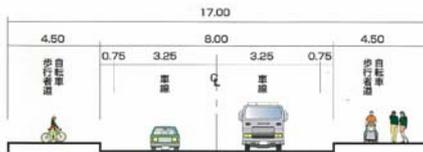


全体図(平面図・側面図・横断面図)

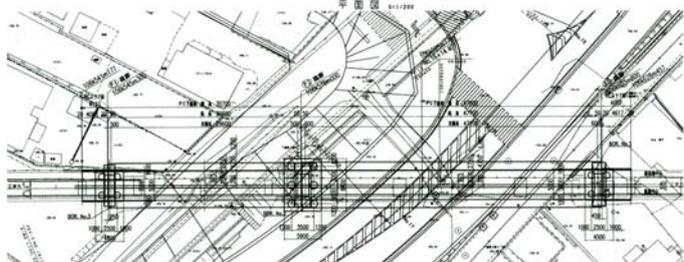
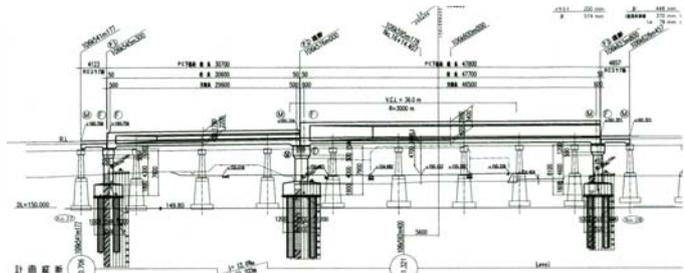
平面図



横断面図



橋梁部(側面図, 平面図)



巴橋栗屋線の整備効果アピール資料



○事業概要

事業名: 街路改良事業
都市計画道路 巴橋栗屋線
路線名: 都市計画道路 巴橋栗屋線
事業箇所: 三次市三次町～栗屋町
事業延長: 327m
幅員: 17.0m(2車線)
総事業費: 約26億円
事業期間: 平成12年度～平成20年度

施工前のJR高架部



「整備効果」

事業区間は、幅員が狭くJR三江線高架下の建築限界が確保されていないことにより、大型車両が高架下を通過できない状況にあった。また、歩道が設置されておらず歩行者・自転車の安全性が確保されていなかった。

当該事業により、JR三江線高架の桁下空間拡大や歩道整備により、交通の円滑化と安全性が確保された。

○利便性の向上及び地域間交通の円滑化

江の川に分断された三次町と栗屋町は、国道375号と一般県道三次江津線により連絡されているが道路幅員が狭く、JR三江線の高架下が2.3～3.3mと低いため、三次町の発展や都市の一体化及び交通の円滑化が阻害されていた。当該事業により、JR三江線との立体交差部が改善され(高架下H=5.0m)、まちづくりと交通処理の両面から、道路機能強化が図れた。

○電線類地中化

三次市は「しなやかな感性と活力に満ちた中国山地の中心都市」を将来の都市像としており、巴橋栗屋線は、都市基盤の形成、交通処理の円滑化、沿線地区の活性化等を図ることにより、活力ある都市づくりの支援やより良い生活環境を確保する役割を担っている。電線類を地中化することで三次市の都市づくりの一環である良好な沿道環境の創出、都市景観の形成が図れた。

事業前写真

平成11年7月撮影



平成11年7月撮影



事業後写真

平成20年11月撮影



平成20年11月撮影

